

九州アメリカ文学会第63回大会プログラム

期 日：2014年5月13日（土）、14日（日）

会 場：佐賀大学全学教育機構棟

<第1日目> 5月13日（土）

開会式 (1号館125教室)

10:30-10:40 早瀬 博範 (佐賀大学教授・九州アメリカ文学会会長)

研究発表

午前の部

第一室 (1号館124教室)

10:45-11:25 松下 紗耶 (九州大学大学院博士課程)
名前から読む『The Autobiography of Miss Jane Pittman』
司会 宮本 敬子 (西南学院大学)

11:25-12:05 河野 世莉奈 (九州大学大学院博士課程)
母娘関係のねじれ——『God Help the Child』を読み解く
司会 小林 朋子 (鹿児島県立短期大学)

総会

13:30-14:50 (1号館125教室)
KALS賞の報告および授賞式

研究発表

午後の部

第一室 (1号館124教室)

15:00-15:40 新田よしみ (福岡大学講師)
見えない恐怖を顕在化する存在
——『Eisenheim, the Illusionist』に登場する幻影たち——
司会 渡邊 真理子 (西九州大学)

15:40-16:20 鈴木 章能 (長崎大学教授)
脱西洋中心主義としての「らしさ」の越境と翻訳可能性
——カポーティと村上春樹を中心に——
司会 高野 泰志 (九州大学)

第二室 (1号館123教室)

15:00-15:40 幸山 智子 (九州大学大学院博士課程)
ライオンとユニコーン
——Tennessee Williams 初期作品群における D. H. Lawrence の残響——
司会 坂井 隆 (福岡大学)

15:40-16:20 岡本 太助 (九州大学准教授)
初期アメリカ演劇における「ホームランド」の力学
司会 竹内 勝徳 (鹿児島大学)

特別講演 (1号館 125 教室)

16:30-17:30 後藤 和彦 (東京大学教授)
「再見『アメリカの影』——戦後文学とアメリカ小説について」
司会 早瀬 博範

懇親会

18:30-20:30 会場 「グランデはがくれ」
佐賀市天神2-1-3 6
tel: 0952-25-2212

<第2日目> 5月14日(日)

シンポジウム (1号館 125 教室)

10:30-12:30 Myth and Meaning in Postmodern American Fiction
司会・講師 Greg Bevan (福岡大学教授)
講師 David Farnell (福岡大学教授)
講師 長岡 真吾 (福岡女子大学教授)

閉会式 (1号館 125 教室)

12:30-12:40 早瀬 博範